

いわで 議会だより

2019.09

53



Contents

- 2 定例会議決結果
- 3 一般質問
- 10・11 常任委員会視察報告
- 12 特集 岩出への想い
9月議会の開催予定日

作品名：一球に想いを込めて ～那賀高校野球部～
撮影者：県立那賀高等学校 3年 きたはら 北原 りょう 涼 さん

令和元年第2回定例会議決結果

案 件 名	結果	賛否（○……賛成 ×……反対 ―……賛否に加わっていない）																
		公明党 議員団		日本共産 党議員団		岩出クラブ			郁青青 クラブ		ネット岩出							
		田 畑 昭 二	玉 田 隆 紀	奥 田 富 代 子	市 来 利 恵	増 田 浩 二	福 山 晴 美	梅 田 哲 也	上 野 耕 志	山 本 重 信	松 下 元	三 栖 慎 太 郎	井 神 慶 久	吉 本 勲 曜	福 岡 進 二	田 中 宏 幸	尾 和 弘 一	
専決処分の承認を求めることについて（岩出市税条例等の一部改正）	承認		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
専決処分の承認を求めることについて（岩出市都市計画税条例の一部改正）	承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（岩出市地方活力向上地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正）	承認		○		○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（岩出市国民健康保険税条例の一部改正）	承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（組織改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定）	承認		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成30年度岩出市一般会計補正予算第8号）	承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成30年度岩出市介護保険特別会計補正予算第5号）	承認		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成30年度岩出市下水道事業特別会計補正予算第4号）	承認		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成30年度岩出市墓園事業特別会計補正予算第1号）	承認		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	（議長のため、賛否に加わることができない。）	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
サンホール設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市公民館設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市陶芸館設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市体育館設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市民スポーツ広場設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市学校施設使用条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市総合保健福祉センター設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
いわで御殿設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市農業構造改善総合センター設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市水田利用再編対策研修指導施設設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市農家高齢者創作館設置及び管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
旧和歌山県議会議事堂管理条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市都市公園条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市下水道条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市水道事業給水条例の一部改正について	可決		○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
損害賠償の額を定めることについて	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度岩出市一般会計補正予算（第1号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和元年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和元年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和元年度岩出市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市道路線の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
動産の取得について（消防自動車等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
動産の取得について（小学校コンピュータ教室パソコン及び機器等一式）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岩出市固定資産評価審査委員会委員の選任について（湯峯 昌美氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
付帯控訴の提起について	可決	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
人権擁護委員候補者の推薦について（宮本 芳子氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について（奥 シゲ子氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について（田宮 ふみ子氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について（家原 護氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※案件名は正式議案名ではありません。

一般質問

6名の議員が市政を問う

- * 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
- * 内容等については、質問者にお問い合わせください。

福 山 晴 美 議員

4 頁

- ◎ 交差点の安全対策について
- ◎ 市民プールの運営について
- ◎ 市民の生涯学習活動について

福 岡 進 二 議員

5 頁

- ◎ 投票率の向上について
- ◎ 化学物質過敏症について

奥 田 富 代 子 議員

6 頁

- ◎ 生活困窮者自立支援事業について
- ◎ プラスチックごみ対策について

増 田 浩 二 議員

7 頁

- ◎ 市民プールの跡地利用について
- ◎ 岩出駅周辺における整備について

市 来 利 恵 議員

8 頁

- ◎ 市立図書館の充実を
- ◎ 認可保育所・幼稚園等災害対応ガイドラインの策定について
- ◎ 3歳6カ月健診の眼科検査の充実を

尾 和 弘 一 議員

9 頁

- ◎ 道路の維持管理・保全について
- ◎ 岩出法務局について
- ◎ 水栖大池公園について
- ◎ 事業所閉鎖について
- ◎ 水道法の改悪について
- ◎ 障がい者雇用について
- ◎ 固定資産税について



一般質問の傍聴に
お越しください！

◆一般質問項目の事前公表

一般質問における質問者・項目については、事前に岩出市議会ウェブサイトで公表していますので、ご覧ください。



福山 晴美 議員
(岩出クラブ)

交差点の安全対策

質問

①安全対策の基準は。
②防護柵などで車を飛び込まないようにできないのか。
③今後の対策について。

答 井 事業部長

①道路法では、道路及び交通の状況に応じ、車両の路外等への逸脱による二次被害防止に必要な区間は、原則、車両用防護柵を設けるとされているが、交差点内に、車両用防護柵の設置を義務付けた記述はない。
②交差点内の歩道に防護柵の設置は難しい状況であるが、警察、道路管理者、国・県・市等隣接者等との協議により個別に対応していく。



車両用防護柵

③対象施設が抽出した危険箇所について点検実施後、関係機関で協議し、より効果的な対策をとるよう留意する。
当市では、毎年夏休み期間中道路管理者と連携を図り、危険箇所の改善に努めている。

多発する交通事故の対策は

市民プールの運営

質問

①新プールの運営体制・安全マニュアルの見直しは。
・新プールの形状に合った監視体制の構築は。
②旧プール跡地の活用方法は。

・新プールの形状に合った監視体制の構築は。
②旧プール跡地の活用方法は。

答 井 教育部長

①入場者数の制限を設け、利用状況により入場制限を行う。
水温と気温の合計が、65度以上超えた場合は、原則水泳を中止する。
45分おきに5分の休憩タイムを取り、プールの状況などを把握できるよう見直している。

常に高い危機意識を持ち管理運営に当たるよう心掛けている。



新市民プール

②堀口プールは、災害発生時に一時避難場所としての防災公園として整備予定。

東公園プールは、現段階において検討中。

質問

①文化祭の動員人数とスポーツ・文化活動団体の推移について。

②増やしていく手立てと今後の方針について。
答 井 教育部長
①文化祭の推移

	H28	H29	H30
入場者数	18,103人	4,475人	18,232人
出品数	418件	422件	411件
団体数	42団体	43団体	40団体
会員数	968人	916人	873人

* H29は台風のため1日の開催

スポーツ少年団及び
体育協会の推移

	H28	H29	H30
スポーツ少年団員数	627人	654人	714人
体育協会団体数	61団体	56団体	59団体
体育協会人数	1,654人	1,444人	1,531人

②文化協会会員については、各クラブと調整を図り積極的な支援を行う。

スポーツ少年団、体育協会は、体験教室の実施や広報紙、ウェブサイト等において、市民が行ってみたいと思えるきっかけづくりに努める。



福岡 進二 議員
(ネット岩出)

投票率向上への 取り組みは

質問

①選挙時及び選挙時以外の取り組みできた対策は。
②期日前投票の状況は。
③今後どのような取り組みを考えているのか。

答 弁 行政委員会事務局長

①選挙時では、啓発チラシを作成し、新聞折り込みによる各戸への配布、市内放送や、メール配信サービス、市の広報紙やウェブサイトの活用。

また、商業施設での啓発物資配布による街頭啓発等々を行っています。

選挙時以外では、若者の選挙に対する意識の低さが指摘されている中、学校現場において模擬投票等を行う出前講座、県の選挙管理委員会が実施する出張県政お話し講座を活用して実施しています。

また、市政懇談会や、区自治会長会議などで周知に努めています。

②制度の周知が図られきたこともあって、利用する人は年々増加の傾向にあります。



③地道な活動を継続して行うことが必要であると考えています。

また、他市町村の状況も参考にし、岩出市として取り入れられるものは取り入れ、また、改善すべきものは改善しながら、効果的な啓発活動に努めます。

化学物質過敏症について

化学物質過敏症とは、何らかの化学物質に対して突然発症すると言われ、頭痛や目まい、吐き気と

いった多岐にわたり日常生活に支障をきたすものであり、いつ誰かが化学物質過敏症になる可能性があるといわれています。

質問

①市においての患者の方の実態数について。

②啓発を広げていく方法の一つとして、ポスターやチラシ・市のウェブサイトを利用し啓発していく考えはどうか。

答 弁 生活福祉部長

①身の回りにある様々な製品に含まれる微量の薬物や、化学物質が原因で、身体的・精神的な症状があらわれるもので、個人差が大きいと言われています。

化学物質の摂取所要量と同様に、発症原因や症状、その進行回復速度や度合いも多種多様です。

さらに微量の化学物質が多様な症状を引き起こしているという客観的な証拠がなく、化学物質過敏症と診断されることも難しい現状があります。



そのような中、正確な患者数を把握することはできていない。

②市広報に、化学物質過敏症も含んだアレルギー疾患についての特集を、掲載するなど周知・啓発に努めていきます。

また、ポスターやチラシについては現在のところ考えていないが、市の広報同様、市のウェブサイトにおいては周知・啓発に努めていきます。

生活困窮者 自立支援の対応は



奥田 富代子 議員
(公明党議員団)



まずは、ご相談を。1人で悩まないで

生活困窮者自立支援制度が始まって4年目になる。この制度の目標は、生活困窮者の自立と尊厳の確保と、自立支援を通じて地域づくりとなっている。

質問

①生活困窮者自立支援制度に対する考え方は。
②3年間の相談件数は。
③どのような取り組みを行ってきたのか。

答 井 生活福祉部長

①生活保護に至る前の段階での、セーフティーネットの役割を担い、生活

困窮者を支える制度として重要と認識している。

【相談件数】

平成28年度 9件
平成29年度 8件
平成30年度 6件
【自立に至った件数】

平成28年度 4件
平成29年度 2件
平成30年度 5件

③生活困窮者の相談に応じ、自立支援計画の策定や、自立相談支援事業、離職により住居を失った、または失う恐れの高い生活困窮者に対する、住居確保給付金の支給。

質問

①庁内が連携し、生活困窮者を把握する取り組みを。

②住居確保給付金の支給実績は。

③生活困窮者が、聞いてもらおう、相談してみようと思える案内を広報に載せてはどうか。

答 井 生活福祉部長

①生活困窮者は、様々な課題を抱えると考えられ、相談先は多岐にわたる。

受け付けた課から、担当課につながる様に、連携を図る。

②平成28年度 3件
8万7,400円
平成29年度 0件
平成30年度 1件

11万4,000円

③生活困窮者を取り巻く民生委員児童委員への情報提供も大切と考える。広報を工夫し、分かりやすい広報、案内を目指す。

プラスチックごみ対策

「G20大阪サミット」において、国際的に問題となっている海洋プラスチックごみは、2050年までにゼロにするという目標の合意をした。

質問

①プラごみ処理の現状は。
②プラスチック製品のポイ捨て禁止条例を策定する考えは。

③「いわでプラごみゼロ宣言」を行っては。

答 井 生活福祉部長

①ペットボトルは、プラスチック製品や、衣類な



どのマテリアルリサイクル。その他のプラスチック類は、補助燃料としてサーマルリサイクルしている。

②クリーン缶トリートメントや、不法投棄パトロールを引き続き実施し、市民の美化意識向上に努める。条例の制定は考えていない。

③「プラごみゼロ宣言」よりも、従来の取り組みを推進することが重要と考える。

市民プール跡地

公民館建設を

投票所としても活用
できる管理施設が、
必要ではないか。

質 問

①堀口の市民プールについては、防災公園での利用が計画されています。地域の一時避難所的な役割を持たすと説明がされ、備蓄倉庫等を設置するとしているが、市民に震災面での対応や避難所となる施設を建設してこそ意義がある公園となるのではないか。



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)



②上岩出の東公園プール跡地は、どのような利用を考えているのか。

③東公園プール跡地は、皆楽園が選挙の投票所の現状を改善する上でも、近隣地域人口面で6千名ほど暮らしている中で、住民が投票所などに利用

できる公共施設を考えるべきではないか。

答 弁 総務部長

①防災資機材保管の備蓄倉庫、応急救護所棟として利用できる東屋などを備えた防災公園として、工事を行います。避難所施設の建設の予定はありません。

質 問

岩出駅の周辺整備計画を

①林町長時代から岩出駅周辺の整備が言われています。現在、タクシー乗り場の前などが、空き家状況になってきています。再開発面でもJRも含め、周辺地域の方も交えた議論を進める考えは、
②長期基本計画の面ではどのような位置づけをする考えなのか。

答 弁 教育部長

②現段階においては、東公園プールの跡地利用についての結論は出ておりません。

③市の財政状況を含め、公共施設の地域性、必要性などの状況を踏まえ結論を出していきます。

東公園は、都市公園に指定され、建築物の制限や史跡や遺跡、埋蔵文化財包蔵地であることも検討材料になります。

③駐輪場面における今後の整備計画は。

答 弁 市長

①事業を進めるにあたり、地域住民や地権者の協力、民間事業協力者の参入があつてこそ進むプロジェクトであり、総合的な見地から慎重に見極めてまいりたいと考えています。



答 弁 市長公室長

②今後、開催する審議会において課題や方向性等を示しながら慎重に検討していきます。

答 弁 生活福祉部長

③駅前駐輪場、ライブラリー駐輪場、公民館駐輪場で約700台を収容しています。少子高齢化により、利用者数の減少も予測されるため、計画はしておりません。



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

幼児の眼科検査の

充実を

視力が正常に育たない弱視の子どもは、50人に一人の割合で見られる。見る力が発達する乳幼児期に治療することが重要で、3歳児健診の視力検査は大きな節目となる。厚生労働省が、全国自治体に3歳児健診で、視力検査を適切に実施するよう通知を出している。

質問

- ①認可保育所での眼科検査の実施はどうか。
- ②健診でさらに検査が必要として、眼科受診を勧めているが、受診率が低い。今後の対応は。
- ③保護者への検査の重要性の周知、意識向上に努める対応は。
- ④眼科医でなくても操作

ができる簡易スキャナー機器が開発されている。厚生省の通知後、機器を導入する自治体が増えてきている。早期発見、子どもたちの健康におけるをとらないよう導入を。

答 弁 生活福祉部長

- ①毎年一回、嘱託医による眼科検診を実施。
- ②率が低いことは認識している。保護者への受診の勧奨を今後も行っていく。
- ③眼科検診が重要である旨は伝えていきたい。
- ④県内、和歌山市2台、田辺市1台導入されている。市では、現時点で検討していない。導入は考えていない。



災害時の

子どもの安全対策

東京都町田市では、認可保育園・幼稚園等災害対応ガイドラインを策定している。各地で集中豪雨等の災害が多発してお

り、災害の備えが喫緊の課題。各園が個別にマニュアルの整備を行っているため、対応レベルに差がある。国や都からも統一した基準がないことから策定に至った。様々な起こりえる災害を想定し、対応策を考えることで意識の向上や各園スキルアップが図れることは重要だと考える。

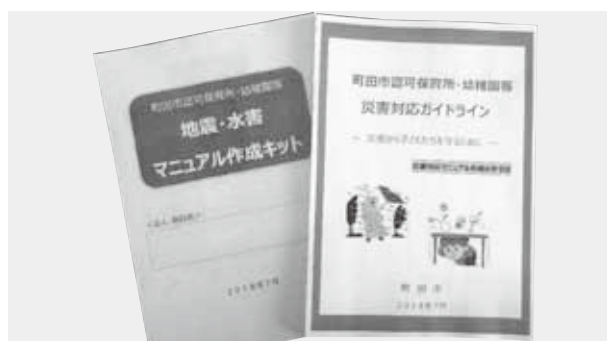
質問

- ①各園のマニュアルの把握と、十分に対応できるものとなっているのか。
- ②指導・助言をどのように行っているのか。
- ③町田市では、園内だけの対応策だけでなく、散歩などの外出時の対応策や、送迎中のバス内での対応策なども想定されて

いる。先進事例も合わせ、活用しながら見なおすと対応策の充実を求めるがどうか。

答 弁 生活福祉部長

- ①年一回、指導監督において、内容の把握と精査を行っている。
- ②那賀消防組合による訓練の立ち入り調査において、指導および助言を受けている。
- ③町田市の事例は、非常に先進的な取り組み。参考になるところは、取り入れていきたい。





尾和 弘一 議員

「除草」年・何回 実施しているのか

質問

道路は大切なインフラである。縁石の周りに雑草が生い茂り、歩くことや自転車通行にも支障がある。

また、学童や児童の通学においても苦情がある。市・県・国道の維持管理・保全はどうか。

①市道はどうか。

②県・国道の除草は年間何回ぐらい実施をしているのか。

③市道における袋小路の逃げ道の無い道路・災害時どつするのか。確保されているのか。

答 弁 事業部長

①市内を8エリアに分割し、毎月第2・4週、路面の状態等を目視、点検を行っている。異常を発見した時は、簡易舗装材による緊急措置等行い安全対策を行い、その後、速やかに業者にて補修を実施している。



県道の縁石 雑草はびこる

②市道の草刈りは年2回、国道24号の除草・剪定は年1回とし、県道は年2回実施し通行の安全に努めている。

③重点事業として地域の利便性向上、災害や緊急時に備えた安全通路の確保を目的とした金屋・荊本線ほか2路線において、生活道路の環状化事業を実施している。

開発協議において、できる限り通り抜けや環状化を図るよう指導している。

障がい者雇用について

質問

過去、2回市の雇用率が未達成であり法定数を守るよう求めてきたが達成しているのか。

答 弁 総務部長

市の雇用者数は3名であり充足していない。早期に達成する様、今年度中に採用したい。

水栖大池公園について

質問

公園の草引き周辺の環境整備に関して

①維持管理は誰なのか。
②照明が消灯している。
③通学路なのか。

答 弁 事業部長

①地元管理組合である。
②壊されたので、消灯している。地元から要望があれば再検討する。

答 弁 教育部長

③通学路にしている。蛇が出ていることについて、注意喚起したい。



玄関表示

岩出法務局について

質問

今、巷で法務局の業務移管と閉鎖の動きがある。
・本局への統合は事実か。
・市としての認識はどうか。

・市民にとって、影響は重大であり、他市と連携して閉鎖しないよう求める。

答 弁 市長

統合された場合利便性が損なわれる。宅地開発が進む中、存続を紀の川市と共同で要望している。

総務建設常任委員会

委員長 梅田 哲也
副委員長 福岡 進二
委員 田畑 昭二
委員 田中 宏幸
委員 松下 元
委員 上野 耕志
委員 玉田 隆紀
委員 増田 浩二

【視察レポート】

5月8日（水）

○山口県下関市

ジビエ有効活用推進事業について

・導入目的

下関市は、H19年まで捕獲檻等による駆除を規制していた経緯があり、シカによる被害が増加していた。

その対策として・・・

有害獣による被害軽減対策に取り組む際の負担軽減及び意欲向上、有害獣の肉を処理して地域資源として活用。これらを目的として、有害獣処理施設、みのりの丘ジビエセンターを建設。

・管理運営方法

指定管理者制度により管理運営を行っています。

また、管理運営者が食肉加工業者ということで、販売ルート、製品企画に強みがある。

・メリット

施設に駆除した有害獣を持ち込んだら処理をしなくてよいということに加え、買取りもしてもらえるとということで、駆除を実施する方にとって、導入目的である負担軽減、意欲向上につながっているとのこと。

・デメリット

シカ等の処理は、現在1名。技術が必要なこともあり、人員が不足している。それにより、処理できる頭数が限られてくる問題も発生しています。

また、管理運営には、市の指定管理料が年間約500万円負担されており、公費がなくなったら運営は厳しいとのことでした。



所感

有害獣処理施設として、全国の中でも成功事例である下関市の現状を視察して、まずは、目的である、猟友会をはじめ、有害獣駆除を行っている方の意欲や利便性を著しく向上させていることは、素晴らしい点であると言えます。一方で、その意識の向上が、有害獣個体数の減少に繋がっているかが明確ではないという点に、有害獣被害対策事業の難しさを感じました。

5月9日（木）

○山口県山口市

インバウンド観光誘客、十朋亭維新館の取り組みについて

山口市は、幕末に多くの志士が集まった明治維新の策源地というコンセプトのもと、歴史・文化のまちづくりを具体化する施設として、十朋亭維新館を設置しました。

スマホのアプリを利用したガイドランス施設である維新館の裏には、地元（まんたいけ）の豪商であった萬代家・庭園を自由に見学することができ、その歴史を感じることが出来ます。

また、この施設だけでなく、地域一帯を文化特定地域と位置づけており、外国人観光客の回遊スポットとしても楽しませることが出来るものであります。インバウンド観光誘客としては、企業の旅行（インセンティブツアー）の誘致にも力を入れるなど、様々な取り組みを行っています。



所感

山口の歴史ある街並み。その魅力を、最大限に活用している取り組みは、点で終わることがなく、バス運行、回遊拠点施設といった様々な事業と連携して、一丸となり企画していく重要性を認識することが出来ました。

今後、まだまだ伸びしろのあるインバウンド誘客を進めていくうえで、「物よりも思い出」という観点に力を入れていくことも、一つの方策ではないかと考えます。

厚生文教常任委員会

委員長 井神 慶久
副委員長 奥田富代子
委員 山本 重信
委員 福山 晴美
委員 吉本 勸曜
委員 三栖慎太郎
委員 市来 利恵
委員 尾和 弘一

【視察レポート】

5月22日（水）

○神奈川県座間市

生活困窮者自立支援 「断らない相談支援」について

座間市では、生活困窮者自立支援事業の任意で行うことができる事業について次のとおり実施しています。

- 1 子どもの学習支援事業
- 2 家計改善支援事業
- 3 就労準備支援事業

これらの事業を通じ、「生活困窮のおそれのある状態」の方に介入していくには、行政・制度だけでは、厳しい現実があると考えました。

・「地域」との連携

そこで、座間市は、地域のさまざまな取り組みと連携することにより、活路を求めました。

・支援調整会議（月1）の開催↓多様な主体が参加し地域と行政が一体に。その他、NPO法人、地域福祉、市民協働等連携を図ることにより多くの相談が増え、さまざまな支援の必要性が見えてくるようになったということです。

所感

生活困窮者自立支援を行う場合、市役所等に相談を行える人については、何らかの支援が可能であります。潜在的な方について、その把握等は、非常に困難であり、問題が具体化した時には、早期に何か対策ができたのでは、と思うことも少なくありません。「自立」を支援するだけでは、「孤立」は解消しない。支援だけでなく「応援」が必要という、座間市の考えは、今後の取り組み

を考える上で大変参考となりました。



5月23日（木）

○東京都町田市

町田市認可保育所・幼稚園等災害対応ガイドラインについて

町田市では、東京都内で初めて、認可保育所、幼稚園を対象に災害対応ガイドラインを策定しました。

その背景として、国や都が作成した保育施設向けの災害対応ガイドラインが策定されておらず、統一した基準がないとい

うものがありました。そのため、各園が個別にマニュアルを整備しますが、基準レベルに差があり、具体的な対応が不十分な部分がありました。そこで、認可保育所園長や学識経験者から構成される策定作業部会を立ち上げ検討を進めました。

ガイドラインの特色

・策定にあたり包括連携協定を締結した民間会社と連携。策定後も、研修や訓練等を実施。↓民間80施設の参加。

・保護者や地域の関係者、施設が連携できるような関係づくりを重視。↓マニュアル作成キットを作成し参画を促す。

・町田市オリジナルを意識し、市内施設の優良事例や市の災害想定等を盛り込む。

・各園にとって「分かりやすく、使いやすい」内容とする。

所感

防災マニュアルを作成するにあたり、それぞれ

の現場で状況が違つ中、統一的なマニュアルでは対応が困難な場合があります。その部分を、各保育所等がマニュアル作成キットにより、それぞれが、地震や水害といった災害を考えることに成功していると感じました。



特集

小中学生から 岩出への想い

います。ただ、車がないと不便だなとは感じます。
最近、車の事故のニュースも多いので、岩出市の巡回バスとコースをもっと増やして通勤通学時間帯に岩出駅へバスを運行したり、もう少し細かくサポートすれば、もっとみんなが安全で住みやすい岩出市になるのではないかと思います。



根来小学校 六年生 前田 蒼空さん

僕は岩出が大好きです。岩出は歴史ある根来寺があり、都会の便利な面と田舎の自然豊かな面があり、車があれば大阪も近く、とても住みやすいと思います。

タルが飛んできます。
夜になると、ふわっと黄緑色のやわらかい光が庭のあちこちで光り、とても幻想的で見てとれてしまいます。
岩出市には、そんな美しい自然がたくさんあります。今一度、身近な自然に目を向けてみてください。きっと素敵な自然が見つかると思います。



山崎北小学校 六年生 安部 悠圭さん

ぼくが住んでいる岩出市には、小さい川や水路がたくさんあります。ぼくの家の裏にも住吉川すみよしがわが流れていて、ホタルが飛んできます。

★ 第3回定例会（9月）の本会議開催予定日は、次のとおりです。ぜひ、傍聴にお越しください。

- 第3回定例会（9月議会）日程
午前9時30分から
- | | |
|----------|-----------|
| 9月 4日（水） | 行政報告・議案説明 |
| 10日（火） | 質疑・委員会付託 |
| 19日（木） | 討論・採決 |
| 24日（火） | 一般質問 |
| 25日（水） | 一般質問 |

議会広報常任委員会

（委員長） 福山 晴美 （副委員長） 市来 利恵
（委員） 福岡 進二 田中 宏幸 三栖 慎太郎 上野 耕志 奥田富代子 尾和 弘一

いわで議会だよりでは、
表紙写真・イラストを募集しています。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



岩出市議会ウェブサイト

<http://www.city.iwade.lg.jp/gikai/>

※携帯電話・スマートフォンなどのバーコードリーダーで読み取ると、議会ウェブサイトにアクセスできます。



QRコード